

平成3月21日付【日本下水道新聞】
東北支部<仙台市と災害協定>
上下水道施設対象に

協部
ン支
水東
北支

仙台市と災害協定

上下水道施設対象に

全国上下水道コンサル
タント協会東北支部（高
橋郁支部長）は、仙台市
と災害時における技術支
援の協力に関し、「災害
時における水道施設技術
支援協力に関する協定」
および「災害時における
下水道施設技術支援協力
に関する協定」を締結、
2日に同市役所で締結式
を行った。同協会が災害
協定を結ぶのは全国で13
例目、東北地方では宮城
県に次ぎ2例目。
同市の水道施設および

郡市長(右)と協定書を
交わす高橋支部長



下水道施設が地震等の自
然災害によって被災した
際、同協会が被災状況等

の調査業務および復旧に
係るコンサルタント業務
を実施、被害拡大防止と
施設の早期復旧を図る。
協定の締結により上下水
道施設の専門知識を有す
る業務委託者の迅速かつ
確実な選定、業務の実施
が可能となった。

締結式には仙台市から
郡和子市長、高橋新悦水
道事業管理者、村上貞則
建設局長ら5人が、同協

会からは高橋東北支部長
ら5人が出席。郡市長は、
平成23年に発生した東日
本大震災における同協会
の被災調査や復旧業務に
対して感謝を述べるとと
もに「高い技術力と専門
性を有する同協会との協
力体制の確保は大変心強
い」とし、災害対応力の
強化へ大きく寄与すると
期待を寄せた。

高橋東北支部長は「仙

台市が大規模災害発生に
より被災した際には当支
部の会員20社が一丸とな
り、これまでに培った上
下水道に関する専門技術
力を駆使し、調査や復旧
にかかわるコンサルタン
ト業務を行う。協定締結
を機に、より一層の技術
力向上、災害時の協力体
制の強化を図っていく」
とさらなる対応力強化に
努めるとした。